地方自治法施行令第167条の2第1項第5号により随意契約をすることができる場合	今回の契約が左に該当すること等の説明
<p>緊急の必要により競争入札に付することができないとき。</p>	<p>1 競争入札に付していたのでは、時期を失し、契約の目的を達することができないことの説明</p> <p>令和7年1月31日に実施した一般競争入札において、1者のみが応札したが予定価格を超過して不落となった。</p> <p>都市緑化普及啓発シンポジウムは、第42回全国都市緑化ぎふフェア期間中の令和7年4月26日に開催する予定であり、遅くとも令和7年3月上旬には参加者募集を開始しなければならない。</p> <p>3月上旬の参加者募集に間に合わせるためには、早急にチラシの制作に着手する必要があるが、チラシの制作は、発注者が決定する企画内容を運営や進行業務上、問題なく遂行できるかを受注者と前もって調整し、参加者受付業務を担う事務局を開設した上で行わなければならない。約1か月でこれらの業務を行うためには、一般競争入札に付しては準備期間が足りず、直ちに契約を行う必要がある。</p> <p>2 特定の者を選定した理由</p> <p>令和7年1月31日に実施した入札に唯一応札した株式会社岐阜新聞社は、本委託業務の類似案件である「『清流の国ぎふ』DX推進フォーラム運営等業務委託(令和6年度、デジタル戦略推進課発注)」を適切に履行した実績があり、シンポジウム等の開催に関する相当の知識及び一連のノウハウを有していることから、本業務においても適正な業務遂行が可能であると認められる。</p> <p>株式会社岐阜新聞社 代表取締役社長 矢島 薫</p>

備考 この様式により難しいときは、必要な事項を含む適宜の様式によることができる。